

ぼくのチャレンジ

日南町立日南小学校 四年 前田 慶次

ぼくは、今、三種目のスポーツをしている。

一つ目は、小学校に入学してすぐに始めたサッカーだ。きっかけは、入学する前、グラウンドで小学生がサッカーの練習をしているのを見て、楽しそうだと思ったからだ。ときどきして始めたサッカーは、実さいにやってみると、やっぱり楽しかった。ドリブルをしたり、ボールを相手チームからうばったり、シュートをきめたりすると、わくわくして、もっと上手になりたいと思った。そして、次の練習が待ちどおしくて、仕方がなかった。し合に出させてもらうと、がむしゃらにがんばった。学年が上がるにつれて、だんだんと周りが見えるようになってきて、チームでたたかう事の大切さが分かってきた。上の学年の上手なプレーもさん考にした。今では、パスをしてボールをつなげたり、ただシュートをきめるだけではなく、アシストをする楽しさもおぼえた。チームプレーの楽しさは、そこにあると思う。

二つ目は、三年生から始めた陸上だ。陸上は、ほぼ個人競技だ。ぼくは、短距りや長距りを中心にやっている。練習では、フォームを直したり、長い距りを走ったりしてしんどいけど、タイムがちまるたびにうれしくなってくる。陸上大会は、すごくきんちようして、足がガクガクする。学校の土のグラウンドとはちがい、競技場のトラックは、赤くてゴムのような素材だ。スタートの合図はえい語だ。テレビで観るオリンピックや世界陸上と同じような場所で走るので、待っている間は、本当にきんちようする。長い長い時間、きんちようの中で待っている。走っている時は、とても短いが、鳥になって空を飛んでいるような気分だ。走った後のつかれと走り終えたそうかい感がたまらなく気持ちいい。練習は、チームのみんなとしているが、レース中は一人できんちようとしたたかわなければならぬ。だけど、

自分ががんばったらががんばった分だけ結果になって表れる。そこにチームプレーとはちがう個人競技のよさがあると思う。

三つ目は、三年生の秋から始めたソフトテニスだ。ぼくは、ペアでしてて前えいだ。友達にさそわれて始めたが、やってみると意外と楽しかった。レシーブが返せるようになり、ラリーが続くようになり、速いボールが打てるようになってくると、ますますおもしろくなってきた。初じ合は、自分たち以外みんなが強いように感じた。でも、練習やし合を重ねていくうちに、し合のふんい気になれ、力もつき、自信もついてきた。ペアで思っている事はちがうかもしれないけれど、しっかりと話し合って動きを考え、作せんを立てる事もできるようになってきた。二人で声をかけてはげまし合ったり、フォローし合ったりできるのがペアで行うスポーツの良いところだと思う。

この三種目のスポーツをするのは大変だと思う時もあるが、それぞれのスポーツの良いところをぼくは知っている。この先、自分がどのスポーツを選ぶのか、ちがうスポーツをするのかは分からないが、チームプレー、個人競技、ペアで行うスポーツといういろいろなスポーツができるかんきょうにあるのは、うれしい事だ。教えて下さっているかんとくやコーチ、いっしょにプレーをする仲間にも感謝したい。スポーツを楽しんで続けていく。これがぼくのチャレンジだ。